

○議長（井筒宣弘君） 次に、九番錦織淳二議員。

〔九番（錦織淳二君）登壇、拍手〕

○九番（錦織淳二君） 再開発事業における交通環境対策について、武井区長にお伺いします。

虎ノ門地区の再開発事業を見た場合、ことし三月に開通した環状二号線、六月に竣工した虎ノ門ヒルズ森タワーをはじめとする環状二号線虎ノ門地区第二種市街地再開発事業、来年から解体工事が始まり、五年間かけて百九十五メートルのタワービルに生まれ変わるホテルオークラ東京を中心とする虎ノ門二丁目十地区計画建設事業、旧鞆絵小学校跡地に区立教育センターと気象庁の庁舎を一体的に整備する虎ノ門三丁目・四丁目開発計画、虎の門病院、国立印刷局、共同通信会館を一体的に整備する虎ノ門二丁目開発計画等が目白押しとなっております、隣接する赤坂一丁目地区の再開発事業、さらには延長線上に浜松町一丁目・二丁目地区、竹芝地区の再開発事業もあれば、九月十六日に新橋地区まちづくり協議会が設立され、JR新橋駅の西側にあるS L広場やニュー新橋ビルを含む一帯を再開発し、複数の超高層ビルを建てる計画が動き始めています。

これらの再開発事業が完成した場合、虎ノ門地区だけを見ても、昼間人口が二万七千六百名、夜間人口が四百三十名増える予測があり、増えた二万八千三十名の交通手段に加えて、ホテルオークラ東京、アンダーズ東京の宿泊客及び周囲の店舗、虎の門病院等の利用者の主な交通手段をあわせて考えた場合、地下鉄銀座線の虎ノ門駅、日比谷線の神谷町駅及び虎ノ門二丁目交差点付近に予定されている新駅とあわせて三駅の利用となりますが、現在でも通勤時間帯は乗降客であふれ、乗りかえ駅になっている新橋駅では毎朝改札どめが何度もあり、ホームにさえなかなか入れず、ホームに入ってくる電車も後の電車がつかえており、これ以上運行車両を増やせないというのが現状で、新駅が

一つできたとしても、同じ一路線かつ電車で運べる乗客数が同じである限り、余り混雑緩和につながらないのではないのでしょうか。

また、虎ノ門地区における再開発事業終了後、各駅の日当たりの乗降客の増加予想数は、神谷町駅五万九千五百名、虎ノ門駅六万六百名になっており、この二駅だけで区の総人口のちょうど半分に相当する十二万人の乗降客が増えることとなります。

ところが、再開発事業組合の環境影響調査書案には公共交通機関の調査結果が出ているものの、区が作成する交通環境調査資料は、自動車及び歩行者の交通量調査が中心になっており、その対策として、道路や駅地下歩行者通路の整備だけで、区民が心配している通勤・通学、通院、買い物客の足になる具体的な公共交通の整備計画は示されておられません。自動車と歩行者中心の交通量調査だけではなく、公共交通の各駅における乗降客数及び動線等の調査もした上で、区民が安心できる再開発事業計画を立てるべきかと思いますが、区長のお考えをお伺いします。

さらには、一九六四年の東京五輪開催期間中の一日当たりの観戦客予測数は三万人で、その対応策として、日比谷線を東京大会開催直前に着工わずか五年の突貫工事で全線開通しています。二〇二〇年東京大会の一日当たりの観戦客予測数は、前回の三十倍以上の九十二万人と予測されているにもかかわらず、虎ノ門駅、神谷町駅の路線は前回の東京大会と同じ状態ではありません。二〇二〇年東京大会開催時の中心区として、おもてなしの心でお迎えする観戦客の皆様はもちろんのこと、区民の日常生活に支障を来さないように、今のうちから危機感を持って各交通機関と十分な対策を立てておく必要があるかと思えますが、区長のお考えをお伺いします。

以上で終わります。ご清聴ありがとうございました。

〔区長（武井雅昭君）登壇〕

○区長（武井雅昭君） ただいまのみなど無所属の錦織淳二議員のご質問に順次お答えいたします。

最初に、再開発事業における交通環境対策についてのお尋ねです。

まず、再開発事業計画についてです。事業者は、再開発事業を実施する場合、事業に関連する公共交通の各駅における乗降客数及び動線の調査を行い、再開発事業計画を策定しており、企画提案書等の中に明記しております。また、事業者は、これらの調査に基づき、民間開発による発生交通量を予測し、利用者が公共交通を快適に利用できるよう、鉄道事業者と協議を行っております。区は今後も、事業者が適切に調査、計画を策定するよう指導し、区民の誰もが安心できる街づくりを実現させてまいります。

最後に、交通環境対策についてのお尋ねです。

現在、虎ノ門駅周辺では、東京地下鉄株式会社と民間事業者が協力して、新駅や交通結節点機能を強化するための地下通路の整備を計画しております。さらに、虎ノ門駅の出入り口の新設や同駅及び神谷町駅のバリアフリー整備等により、安全性やサービス水準の向上に取り組んでおります。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催時の観戦客等への対応につきましては、東京都が設置する輸送調整会議などで交通関係者間の意見調整を図るとともに既存の交通機関に加え、バスを利用するBRT等による輸送量の増強についても検討を進めております。

よろしくご理解のほどお願いいたします。

○議長（井筒宣弘君） 以上にて、質問を終わります。